

沖縄 21世紀ビジョン基本計画(仮称)(案)に対する意見  
(沖縄県振興審議会第4回総合部会)

平成23年11月22日(火)

## 目 次

1. 大崎 正和 (沖繩県振興審議会委員) . . . . . 1
2. 花城 順孝 (総合部会副部長) . . . . . 2
3. 饒波 正博 (総合部会専門委員) . . . . . 3
4. 伊藝 美智子 (総合部会専門委員) . . . . . 4
5. 阿波連 光 (総合部会専門委員) . . . . . 5
6. 富川 盛武 (沖繩県振興審議会副会長) . . . . . 7
7. 島袋 純 (離島過疎地域振興部会専門委員) . . . . . 11

別紙様式1

沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案に対する意見

氏名:大崎正和

(所属部会名: ) 部会)

諮問案 頁・行	諮問案	意見(修正案文)	理由等
第3章2- (4) P.38 ア 10行の あと	付け加えて。	また、先の東日本大震災の被災者及び原発による放射能被害を懸念し本県に移住してきた者が地域と共生出来るようにケアする体制をつくる。	既に震災で多数移住してきている被災者、そしてこれから更に増えてくるであろう、放射能被害を恐れて移住してくる者は、複雑なメンタリティーを有し、沖縄生活においてどうしても孤独感を持ちやすい。また、地域との共生に馴染めず、反社会的行動に出る者が発生する懸念も起きうるゆえ、その対策も含めて先を見据えた文言を入れておいたほうがいい。理由については、出席し、更に深く説明したい所存である。

※沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案について、ご意見がありましたらご記入願います。

別紙様式1

沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案に対する意見

花城 順孝

総合部会

諸問案 頁・行	語 問 案	意 見(修 正 案 文)	理 由 等
15ページ下 から7行目	、沖縄らしい優しい社会の実現を通して、強くしなやかな経済の構築にもつながる取組を戦略的に推進します。	、強くしなやかな経済の構築にもつながる取組を戦略的に推進し、沖縄らしい優しい社会の実現を図ります。	この項では、「沖縄らしい優しい社会の実現」が目標ではないのか。
16ページ1 6行目	グローバルな島しょ型経済発展の障害となっている	島しょ県沖縄のグローバルな経済発展の障害となっている	「グローバルな島しょ型経済発展」という表現は意味不明。そもそも「島しょ型経済」は不利性を表現するものではないのか。その不利性を克服し、グローバルに経済発展を進めるための障害が「割高な交通・輸送コスト」である、ということがこのくだりの主旨である。
基本プロジェクト(案)39 ページ 「減災・防災 対策の強 化」	ダム建設によるピーク量の低減による洪水被害を防御  備蓄倉庫等の整備	ダムによる……  備蓄物資確保等……	治水及び利水ダムの建設は、現在進めている億首ダムで終了するのではないか。  問題は、備蓄倉庫の確保ではなく、備蓄物資の確保ではないか。
基本プロジェクト(案)39 ページ 防災対策の 強化	備蓄倉庫等の整備	備蓄物資確保等……	問題は、備蓄倉庫の確保ではなく、備蓄物資の確保ではないか。

別紙様式1

沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案に対する意見

氏名: 饒波正博

(所属部会名: 総合 部会)

諮問案 頁・行	諮問案	意見(修正案文)	理由等
全体	基本計画は、県内に限らず県外に発信するものと考えます。よって方言(イチャリハ、チョーデーなど)の簡単な解説が必要であると思われれます。	同左	今までの「基本的考え方」であれば県内で議論するためのたたき台であったため、方言のままで問題はありませんでしたが。
9p	(1)自立 依存し支援するつながりが豊富に備わっている地域は、	依存(補完)し合い、支援し合うつながりを志向する地域は	「基本的考え方」からあり見過ごしていました。 理由:ここは自立とは相互関係のなかで醸成されるものと定義していますので、依存し支援するでは一方的な印象を受けます。 相互関係をあらわす表現が適当だと思われれます。
14p~19p	8つの政策的枠組みはどこから出てきたのか。		今回の「基本計画」からでてきています。 資料2に説明ありますが、項目名、内容の出典を説明をお願いいたします。
19p	具体的な展望値は、...これらが明らかになった時点で示します。	展望値が、予想できないものとして分けたほうが良い。	10年くらいのスパンであれば、人口、人口の年齢構成比、学齢人口、生産年齢人口などはかなり正確に予想できると思いますがいかがでしょうか。
42p	基本施策の展開方向 ここで将来の社会リスクが、羅列されていますが、人の移動(流入、流出)に伴うリスク(犯罪、生活習慣の違いによるトラブル、感染など)も入れるべきだと思います。		基本指針(10p)でアジアに目を向けた人的交流を目指すのであれば、このリスクは当然予想されるところだと思います。
88p 111p	駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)		「基本的考え方」にはでてこない法律です。 本「基本計画」で国に求める法律の一つでしょうか？

※沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案について、ご意見がありましたらご記入願います。

別紙様式1

沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案に対する意見

氏名:伊藝美智子

(所属部会名: 総合 部会)

諮問案 頁・行	諮問案	意見(修正案文)	理由等
5p(1)5行目	○他方、企業や家計に…	○他方、企業や家庭経済に…	・企業と家計という表現はイメージやひびきとしてどうか。世界市場として違和感があり。
9p(1)3行目	○ともにも未来に向かって歩んでいく姿に現れます。	○ともにも未来に向かって歩んでいく姿が見えます。	・現れと見えは仮想現実の表現の違いと見えます。自立を促すために文章の流れとしてどうか。
10p(2)下段3行目	○沖縄自らもとより日本経済全体…	○沖縄自ら日本経済全体を牽引する…	・もとよりは省く。沖縄は地域交流が盛んであるがゆえに、もとよりを省いたほうが文章の流れがわかりやすい。
43pア11行目	○加害者対策を推進します。	○加害者の更生に向けた対策を強化します。	・安心・安全に暮らせる地域は予防対策が肝要です。DVの防止は更生に向けた対策を強化することで未然に防げます。現状では増加傾向です。
45p9行目	○県民の県民の生命や財産	○県民の生命や財産	・文字の内間違いでは。県民の文字カットしては。
44p下段4行目と109p5行目	○狭あい ○狭隘	○字を統一したほうがよい。	

※沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案について、ご意見がありましたらご記入願います。

## 阿波連委員

### 1 「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」の表現内容について

多数の人たちによって、短期間にまとめられたことに起因していると考えられるが、日本語の文章としてのつながりが悪い、修飾語が多すぎて文章が分かりづらい、内容が重複しているといった箇所が多々存在する。是非、正案として可決する前には、推敲し、分かりやすい文章に整えてほしい。

### 2 社会リスクセーフティネットの確立

#### (1) 「ア 安全・安心に暮らせる地域づくり」について

様々な内容を雑多に盛り込んでいるため、分かりにくい。

項目を立て、内容を整理すべきである。

- ・ 交通安全対策
- ・ 地域安全対策
- ・ 防災対策
- ・ 消費生活対策など

#### (2) 内容や分量についても優先順位や重要度に応じて、書き分けなければいけないと思う。

例えば、地域安全対策についていえば、「自主防犯ボランティア団体への支援」よりも「警察基盤の強化」が先にこななければいけないと思うし、分量においても「イ」の項が圧倒的に多くなっており、バランスを欠いていると思う。

### 3 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決

#### (1) 本計画案が、沖縄県の策定する県の総合計画（振興計画）であるとするなら、沖縄県自身が何をすべきかということを書くべきであって、「国の責務において、・・・をします」というのは、大変無責任な感じがします。

#### (2) 「日米両政府へ対策を求めます」「抜本的な対策を講じるよう求める」「説明を求めます」というだけではこれまでの繰り返しであり、何も計画しないのと同じではないだろうか。

もっと具体的に沖縄県としてやれることはないのだろうか。

例えば、調査研究組織を立ち上げ、土壌汚染の原因、その影響の調査、これを除去し、再発させないための仕組みや組織作り或いは法律等を具体的に提案するなど、具体的な根拠をもって日本政府や米軍を説得するための行動が必要であると思う。

#### (3) 戦後処理問題の解決

これについても、前項で述べたところと同じく、「国の責務により」という記載が目立つ。これでは沖縄県の計画にならない。

例えば、沖縄県内において、不発弾事故が生じた場合には、国が損害賠償責任を負担する制度や法律の実現に向けて、・・・するという形に変えるべきであると思う。

### 4 克服すべき沖縄の固有課題

#### (1) この章の 1～4 すべてについていえることであるが、概況→克服の意義→解決へ

の道筋として、論を展開しているが、内容において重複したり、意義という大変難しい項立てをしているため、大変わかりにくくなっていると思う。このような場合には、現状の把握→問題点の分析→対策という形で論理を展開するのが一般的であり、分かりやすいと思う。項のタイトルは、別にしても、再考するべきと思う。

(2) 基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用

3で述べたとおりである。「駐留軍用地跡地利用推進法」という名称だけを述べるのではなく、①・・・、②・・・、③・・・を骨子とする法律の制定を目指す。というような形で表現すべきではないだろうか。

(3) 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築

内容としては、「海洋島しょ圏」であることを超えるものになっているため、タイトルと内容が一致していない気がします。

(4) 地方自治拡大への対応

一括交付金や特別措置を念頭に置いたものであると思うが、論理展開に無理があると思う。地方自治を強調しても、他県と全く異なる一括交付金や特別措置は直ちに導かれないと思う。



総論メモ

- ・ 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画と基本プロジェクト案の関係
- ・ 造語の整理
- p. 15 クリエイティブ・アイランド
- ・ 文章の確認
- p. 35、p. 49 同じ文章

本文修正

- p. 10 自立の定義  
(本文)

人や地域社会の自立とは、他人や他地域に依存せずに孤立的・自給自足的に歩んでいく姿をさしているものではなく、多様な他主体と補完しあい、支え合う関係の中で、ともに未来に向かって歩んでいく姿に現れます。依存し支援するつながりが豊富に備わっている地域は、他地域から必要とされ、承認され、また自立した地域として評価されます。このため、自立は交流と共生とに密接に関わり重なっているものでもあります。

(修正文)

人や地域社会の自立とは、他人や他地域に依存せずに孤立的・自給自足的に歩んでいく姿をさしているものではなく、基本的には、自然と共生し、多様な他主体と補完しあい、自らの意志と力で成長、発展し生活や文化を昇華させることを指します。

自立は交流と共生とに密接に関わり重なっています。ともに未来に向かって歩んでいく姿に現れます。依存し支援するつながりが豊富に備わっている地域は、他地域から必要とされ、承認され、また自立した地域として評価されます。このため、自立は交流と共生とに密接に関わり重なっているものでもあります。

- p. 18 (7) 離島の定住条件向上等による持続可能な地域社会づくり  
(本文)

我が国の国土、海域の保全や排他的経済水域の確保など国益上重要な役割を担っている離島の振興については、沖縄 21 世紀ビジョンにおける固有課題の一つに位置づけていることから、条件不利性に起因する様々な課題を克服する

と同時に、離島の新たな可能性を発揮できるよう、県民はもちろん国民全体で離島の負担を分かち合い、支え合う仕組みを構築し、持続可能な地域社会を形成します。

(修正文)

離島は我が国の国土、海域の保全や排他的経済水域の確保など国益上重要な役割を担っています。膨大な海域を有する沖縄の離島を海洋政策の拠点と位置づけ、海洋の安全、環境保全、海洋資源の開発、海洋産業の発展、国際協調等の海洋政策の拠点（プロトコル）として沖縄の離島を整備します。

コメント [1]: 赤字 修正文

離島の振興は、沖縄21世紀ビジョンにおける固有課題の一つに位置づけていることから、条件不利性に起因する様々な課題を克服すると同時に、離島の新たな可能性を発揮できるよう、県民はもちろん国民全体で離島の負担を分かち合い、支え合う仕組みを構築し、持続可能な地域社会を形成します。

(理由)

沖縄を海洋政策の拠点にするため

p. 19

(修正文)

未来の沖縄を担う子どもたちに対しては、私学を含めた学校教育の一層の充実と、沖縄全域における公平な学習機会の確保、海外留学の拡大、推進等による教育環境の充実を図り、幅広い知識や教養、道徳心及び国際性を持った個性豊かな人材を育成します。

コメント [2]: 挿入

(理由)

国際性を備えた人材の育成を当たっている割には、あまりにも海外留学数が少なすぎる。復帰前は200, 300人の米留学制度があった。

p. 20

(修正文)

沖縄は豊かな自然環境と風土・伝統に根ざした文化を有しています。これらの資源は、ホスピタリティあふれる県民性を形成する源であることに加え、人々を魅了し惹きつける要素であり、沖縄が持続的発展を志向する上において大いなる力となります。

このため、豊かな自然を守り育みながら持続的に発展ができる沖縄の実現に向け、自然は天賦の貴重な財産であることを共通認識のもと、沖縄を環境保全のモデルとなるべく「環境フロンティア」と位置づけ、環境への負荷を最小限に抑制し、自然環境と経済活動が両立した社会に構造転換していきます。

コメント [3]: 挿入

(理由)

自然は大きなソフトパワーであり、沖縄を自然保護の先進地として位置づけるべきである。

p. 35

(修正文)

また、災害等から県民の生命、財産を守るため、生活基盤の強化や危機管理体制の整備に取り組みます。また、人と人の「絆」が希薄化していることに対し、住みよい地域をつくるため、人と人の絆を深めるソーシャル・キャピタル(社会関係資本)や共助の精神で活動する「新しい公共」を活用して、地域社会を構成する住民や地域組織、NPO、企業、行政等の多様な担い手が互いに連携して共助・共創型のまちづくりを推進します。

コメント [14]: 赤字、修正文

(理由)

絆の修復に、有効なソーシャル・キャピタル(社会関係資本)や「新しい公共」の重要な役割が欠落している。

p. 52

(修正文)

陸上交通により他県と結ばれていない沖縄にとって飛行機は極めて重要な移動手段であり、飛行機が発着する空港は県民の移動や離島からの救急搬送の拠点として、さらには、観光をはじめとする産業振興や交流・物流の拠点として重要な役割を果たしていることから、将来の発展を見据えた適正な規模と必要な機能の確保する「アジア・ゲートウェイ空港」として整備、推進します。

このため、那覇空港の滑走路増設については、早期の供用開始に向けて取り組むとともに、国際線旅客ターミナルの早期整備、国内線旅客ターミナルの増設等、空港機能の強化に取り組みます。

(理由)

那覇空港は国内規模の空港ではなく、「アジアの空港」の位置づけにすべきである。国内の規模の発想では飛躍的に増大するアジアの観光客や物流に対応できない。

コメント [15]: 挿入

p. 67

以下を追加する

(修正文)

オ アジアの先端医療拠点  
西洋と東洋の複合医療を沖縄で展開し、世界先端の高度医療の提供地として、

コメント [16]: エ 金融関連産業の集積促進の後に追加挿入する

沖縄にアジアの先端医療センターを設置する。

(留意点)

基本プロジェクトとの健康医療イノベーションとの名称の統一が必要となる

(理由)

日本の安全、安心で高度な医療サービスと観光、保養を組み合わせにより、地元への提供と国内外の観光客の誘致を図る。

基本プロジェクト (p. 19) に健康医療イノベーションがある

p. 92

国際交流拠点の形成を図るためには、交流の基盤となるネットワークを強固なものにするとともに、本県の地域的・歴史的背景を生かし、国際社会との多角的な交流を展開していくことが必要不可欠であることから、県内大学、企業、県・市町村、県民の各階層とアジアをはじめ、世界との「知のネットワーク」を構築し、様々な分野で県民各層参加のもとに、交流施策の展開を図ります。

コメント [07]: 朱字挿入

このため、世界で活躍している県系人に加えて「沖縄」をキーワードに集う各界各層関係者を取り込んだ世界のウチナーネットワークを強化するとともに、県内外において次世代のネットワークの担い手を育成し、ネットワークの継承、拡充を図ります。

(理由)

沖縄は産官学の海外ネットワークが十分ではない。「万国の津梁」に恥じぬ、知のネットワークを拡大推進すべきである。

p. 153

(修正文)

このため、沖縄の特殊事情を踏まえた新たな沖縄振興に関する法律では、沖縄の自立的発展はもとより日本全体の発展につながりうる各種制度や財源確保等に関する項目を求めていきます。

・基本計画の議論をしているが、実施計画の策定は何時か 新たな計画は来年4月スタートである。

別紙様式1

沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案に対する意見

氏名: 島袋純

(所属部会名: 離島過疎 部会)

諮問案 頁・行	諮 問 案	意 見(修 正 案 文)	理 由 等
9頁8行目～ 13行目	拡大する地方自治の～ ～取り組んでいく ことが求められます。	拡大するの文書の前に、以下を挿入。「以上の6つの個別的な基本的課題を解決して行く上で、もつとも重要な基盤となる基本的課題が、沖縄の自治の力や自律力の向上、つまり自己決定権の拡充です。全国的に拡大する地方自治の潮流に対しては、その先導的なモデルとして、沖縄が抱える地域特性を踏まえ、、、以下同文」	6の基本課題追求の前提条件となるもつとも重要な課題を、明示すること。これがないければ、他の個別課題の追求もありえない故に。

※沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)案について、ご意見がありましたらご記入願います。

総合部会あて

島袋純意見2 離島過疎部会副部会長

計画案12頁～13頁

### (1) 潤いと活力をもたらす沖縄らしい優しい社会の構築

の段落すべて

現代社会は、様々な価値観のもと、社会のニーズが複雑かつ多様化し、競争と市場主義の中、人間関係の希薄化や社会の絆が薄れ、格差が生じる時代へと変化しつつあります。伝統的に「ユイマール」と言われた密接な相互扶助に支えられ沖縄の社会的な結びつきも例外ではありません。

このような時代において、人々がしっかりと支え合い、人と自然が調和し、国内外の他地域と交流し共生する開かれた沖縄らしい、人に優しい社会を構築していくことが求められています。

地域社会の絆を再生することによって、子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくるとともに、保全と保護に県民全体で取り組んで育くむ豊かな自然環境のもと、医療や福祉、保健が充実し、子どもから高齢者まで安全で安心できる生活空間である暮らしに優しい社会とならなければなりません。

そのためにはまず、地域のあり方を再認識し、地域の活動の広がりを通して、共助・共存のもと地域のコミュニティを構築していかなければなりません。地域コミュニティによる共助の領域の拡充とともに、公共サービスにおいても、教育・医療・福祉等の分野を中心にNPO等の民間の活動範囲が発展しています。このような地域の方々の自発的組織のさらなる拡充により、共同の分野及び公的な分野を含めた地域づくりに市民と行政の協働を推進して取り組んでいくこととします。がより強く求められています。

また、沖縄本島を除く39の有人離島及び過疎地域の住民が、安心して暮らしなれた地域で生活を続けるには、県民全体で離島・過疎地域を支え合う社会を形成することが極めて重要です。

沖縄の人々はかつてユイマールをはじめとした助け合いの精神を有し、人と人とのつながりや地域の課題等を共有し共同で解決をはかりながら生活を営んできました。このような、県民性や沖縄の持つ風土を掘り起こし再生することによってに根ざした、沖縄の特性を生かした地域づくりを行い、優しい社会を創っていかねばなりません。←必要があります。

コメント [1]: 理由: 現代社会の一般論だけで終わるのではなく、沖縄も紛れもなく、現代社会の病根がはびこっていること=現代の課題、をきちんと書くこと、ユイマールでごまかさない。

コメント [2]: 理由: 前の段落で、欠落している現代社会の人の繋がりを、ここで第一番目に出さないと文意が繋がらない。

コメント [3]: 子どもの育つ環境とは、地域社会の絆そのもの、結びつきによる地域の教育力であることを明示する必要。

コメント [4]: 自然環境も、破壊され尽くしているのでは、主体的に自然を再生して、取り戻していくことによってしか、「豊かな」自然にならないので、そのことを書く。

コメント [5]: 「必要です。」という誰がどのくらいの実現の責任を負うか分からない表現よりも、その...

コメント [6]: 理由: 「一方」は、対比、あるいは対(ついで)となるような段落で使うのだが、これは...

コメント [7]: 将来像が見えない「取り組む必要」とにかくやってみる的な書き方よりも将来像の...

コメント [8]: 課題の共有だけではなく、解決の共同が、重要で、それこそ共助に相当。

コメント [9]: 根ざすことができるレベルのユイマールは、ほぼ消滅している。ほぼ死滅したもの...

---

ページ 1: [1] コメント [j5] junshima 2011/11/21 10:23:00

「必要です。」という誰がどのくらいの実現の責任を負うか分からない表現よりも、そういう社会に私たちがする、という積極性、能動性がある表現がいいのでは。将来像の明示と実現義務を書き込むことです。

---

ページ 1: [2] コメント [j6] junshima 2011/11/21 10:17:00

理由:「一方」は、対比、あるいは対(つい)となるような段落で使うのだが、これは、前の段落を受け、その具体化を述べるところなので、このような接続のフレーズがいいのでは。

---

ページ 1: [3] コメント [j7] junshima 2011/11/21 10:19:00

将来像が見えない「取り組む必要」、とにかくやってみる的な書き方よりも将来像の実現義務を明示した方が良い。

---

ページ 1: [4] コメント [j9] junshima 2011/11/21 10:47:00

根ざすことができるレベルのユイマールは、ほぼ消滅している。ほぼ死滅したもの、幻想だけが残っているものを作り直す、再生する、というぐらいの意気込みが必要。

全般的に修正の要求.....

13頁以降もすべて、全般的に言えることは、最後の述語を見直して欲しいということですが。

「することが必要です。」「ことが重要です」「取り組みを推進します」  
「発展に努めます」

的な、語法が非常に多く、主体性が感じられず、どういう社会像を10年後の到達目標とするのか、  
分からない、...

それよりは、16頁の一段落目最後、「社会を形成します」  
三段落目、「空間を創造します。」  
四段落目、「基盤）を形成します」  
5段落目、「ネットワークを構築します。」

が、まだ、ずっとまじな述語だと思います。  
このような言葉だと、最後の述語に続く前のフレーズが到達すべき社会像、  
を打ち出している感じがします。

せめて全体すべてを見直して、そのような表現にして欲しい。

と思います。



## 第2章 (1) 自立 p9-10

自立の意味するところが明確に記されている点は前回よりわかりやすくいいと思いますが、国のレベルでも議論がわかれ、都道府県議会でも反対決議が多数をしめた自由化について、方針として、ここまでひとつの方向性で明言していいのか、もう少し別の表現がないのか、気になります。

「一方、グローバル経済の進展は、一面で市場経済原理のもと地域間競争、国際競争など競争を激化する誘引を持っていますが、このような競争に臆することなく立ち向かうことも必要です。」

ではなく、県の方針であれば

「一方、グローバル経済の進展は、一面で市場経済原理のもと地域間競争、国際競争など競争を激化する誘引を持っていますが、国際市場の中で競争力のある品目、競争力のない品目を精力的に分析し、県民・企業・関係団体がそれぞれ取り組むと共に、それぞれに対応した戦略や支援のあり方について県としても考えていきます。」

などのほうがいいのではないのでしょうか。

## [理由]

例えば、TPP 交渉における参加・反対の議論のわかりづらさは、賛成派反対派の意見双方が違った土台に寄っていることにあると思います。特に農業分野での反対が多いですが、農業は産業としてみた場合、かなり多様性があります。穀物、野菜、果樹、花卉（かき）、畜産の5つがあります。そして、この分類に収まらない作物に茶やタバコ、繊維があります。一口に「繊維」と言っても、「綿」は植物を育てますが、「絹」では蚕（かいこ）という蛾を育てます。これ以外に、蜜蜂を育てて、蜜を取る農業もあります。しかも、こうした農作物生産の競争戦略（大規模化や人件費の削減などコストカットが競争力を高める作物なのか、品質が競争力を高める作物なのか）や生産性の工業化（戦前から栽培方法に大きな差がないもの、あるもの）などは作物によって大きく異なります。

沖縄県としては、推進の旗振りだけではなく、どの作物では国際的な競争力を持っていて、どの作物では国際的な市場に奪われるのかをきちんと分析し、一緒に支援と対策を考えますという態度を示すべきではないでしょうか。また、成長のエンジンと言える移出産業で組み込めそうなものがあるのかもよくわかりません。

前半の検討の時に、カロリーベースで見て日本全国並み、と沖縄の自給率について説明されていましたが、豚やサトウキビを算出する沖縄の場合、生産高ベースでは異なると思います。「(食料生産の伸びの方が人口増加の伸びより大きいことから)世界同時の食糧危機は訪れない」ということをベースにした理論であるかと思いますが、「現在の農業自体が『石油に浮かんだ農業』(食料生産の伸びが化学肥料や機械工法によっているため、人馬をベースにしていた頃は投入エネルギーに対して生産エネルギーが高かったが、現在は逆になっている)とも評される中で、生産性を保っていけるのか」「過去100年推計をもとにした統計値からすると、天災確率が上がっている」という状況の中で、食の安全保障という概念を古いものとして排除してしまっているのかどうか、少し危惧しています。